

# 校歌

作詞 船勢直  
作曲 犬童球溪

## ◆式次第

- 一 開式の辞
- 一 国歌斉唱
- 一 卒業証書授与
- 一 校長式辞
- 一 雛鵬賞授与
- 一 教育委員会あいさつ
- 一 来賓祝辞
- 一 育友会会長あいさつ
- 一 来賓紹介・祝詞祝電披露
- 一 在校生総代送辞
- 一 卒業生総代答辞
- 一 校歌斉唱
- 一 閉式の辞
- ◆ 式後の行事
  - 一 保護者代表あいさつ
  - 一 卒業生退場

一、塵かん遠く隔てたる  
あ、西海の別天地  
潮風薫る苓洲の  
学の園の露分けて  
飛翔を習う雛鵬の  
胸は希望に燃ゆる哉

二、振放みれば倉岳の  
高嶺を出づる天つ日の  
下界の暗を照す時  
天には真理地には道  
人の心に「正大」の  
聖き光ぞ溢るなる

三、時永久に寄る波の  
鞆鞆として岸をうつ  
天草灘の雄叫びに  
聞けや自然の動脈を  
沸きて流るる「剛健」の  
生命の潮の高鳴りを

四、神秘ぞ燃ゆる不知火の  
筑紫の海に風風ぎて  
澄むや千尋の底深く  
万象影を涵す時  
一視同仁隔てなき  
「寛厚」の徳君見ずや

正大 剛健 寛厚

戊子之夏 桂園書